

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次
 〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集:青木 正
<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>
<http://www.justmystage.com/home/tozan/>

年度末も活発な活動！ 救助隊関東B 深雪訓練交流会 応急手当講習会(女性委員会) 山スキーネット交流山行

関東ブロック救助隊 深雪搬出訓練交流会

二〇一〇年二月二十七日(土)～二十八日(日)、谷川岳のふもとの土合山の家にて、救助隊関東ブロック深雪訓練交流会が七十五名の参加で行われた。今回は埼玉県連が主観で行われ、理事を含め二十二名が参加。徳重隊長の挨拶の後、早速千葉県連の副隊長の横山氏を講師としてヘリ救出に関する学習を行った。横山氏はヘリ空撮を生業としており、ヘリの特性について熟知しておられ、ヘリが救出に向かった際に現場の登山者がどのように対応するのがよいか解説していただいた。プロならではの視点からの解説で大変有意義であったと思う。

午後からは講習班・訓練班・山スキー班に分かれ行動した。講習班は三宅事務局長によるGPS解説についての学習、翌日の訓練の机上学習として梱包技術・支点工作・ビーコンの学習を行った。訓練班は群馬の茂木氏・柴山副隊長の下、

室内にてデモンストラーション及び翌日の訓練手順の総括。山スキー班は川嶋全国事務局長を講師として、山の家駐車場にてスキーを利用したソリの作成とシート梱包・ビーコン搜索・組織ゾンデ搜索・V字コンベア掘り出し法・スノーマウンツの作成などを行った。

一日目は以上で終了となり、夕食の後は各県連の活動報告と懇親会。群馬県連からは、この二年間で元会員を含め四件(五人)の死亡遭難事故が起きており、教訓としていきたいと報告があった。乾杯の後はおおに交流して盛り上がった。

翌日は初め雨の降る生憎の天気であったが、やがて雪に変わり午後には晴れ間ものぞくようになり、予定通り実地訓練を行う事が出来た。

訓練をローテーションで行った。梱包技術については武笠チーフ・尾手氏・長谷川氏・伊藤氏が担当し、支点工作・1/3引き上げ・チーフ・安田氏・佐々木氏が担当、ビーコン搜索については浅見チーフ・青島氏・木村が担当し訓練を進めた。

十四時には講習グループの訓練も終了となり、山の家に集合して各講習グループのチーフより総括が述べられた後、解散となった。

木村理事記
 (熊谷トレッキング同人)



県連山スキーネット

交流山行 那須

二〇一〇年三月七日(日)、昨年と同じく那須連峰のスタレ山にて山スキーネットの交流山行が行われました。今年も所沢ハイキングクラブの長谷川さんが参加され、他に熊谷トレ

ッキング同人から九名の合計十名の参加でした。

高速の道中は雨、天気が心配されましたがスキー場に近づくにつれて雪に変わり一安心。Mtジーンズスキー場のゴンドラの山頂駅から出発し、中ノ大倉尾根の夏道沿いに登っていきま

した。今年は南岸低気圧の影響でかえって那須特有の強い風が吹かず穏やかで、雪面にも今日の新雪がうっすらとついでいてシールが良く効き、順調に登ることが出来ました。1時間半程で去年敗退したスタレ山の急登の手前まで到着し、安全のためここからはクトーを装着して登りました。急登を登りきった後は夏道沿いに進んで、途中からは雪が途絶えてガレ場となったのでスキーをデポ。程なく去年はたどり着けなかった大きな岩のあるスタレ山の山頂に到着しました。

一休みの後、スキーデポ地まで戻って、そこから五十m程先からスタレ山東面の大斜面に滑り込みました。雪面は硬いが、所々新雪もつており、それなりに楽しみなが滑ることが出来ました。尾根まで滑って、そこからさらに去年も楽し

んだ尾根北面斜面へ。樹林帯の雪質はまずまずでした。谷底1470mで昼食休憩を取り、長谷川さんともしばし交歓。

休憩後、尾根上1550mまで登り返し、そこからまた夏道沿いにスキー場へ戻りました。スキー場までも新雪で思いのほかスキーが走り、快適に滑ってゲレンデに帰着。ゲレンデ内は雪がベチャベチャで雪面も荒れていて苦痛な状態でした。これと比べると山スキーはやっぱいいなあと思います。

来年もさらに多様なメニューで山スキーネットを楽しめたらと思いますので、どうぞよろしく願います。

なお、熊谷トレッキング同人のHPにも今山行の写真等掲載されていますので、ぜひご覧ください。
http://kumatek.jp.nu.org/m_ski/10/sudare.htm

木村理事記





女性委員会

三月六日(土)、女性委員会主催の応急手当講習会(埼玉労働会館)に参加させ

講師の藤樹先生が始めになさった事は写真を見て危険を予測するトレーニング

午前中は、午後の講習につながる基本的な練習でした。ここでの学びが午後の実践

く枝だと分かります。枝と骨を間違えるとは... 富永さんの足から見えた骨が強く

想像して、まず何を一番にするのか、次に何が大切な事なのかイメージし、間

藤樹講師、有難うございました。そして企画してくださった女性委員の皆さん

今回の講習会に参加させて頂いて、『自分は何にも出来ない』という事がわかりました。

訓練とわかっていても、何をどうして良いかわからず、講習の様子を撮影していた

「もし本番だったら? 自分は遭難者をおんぶできるか? 担架を作れるか?」

「山に行くのが恐くなります...」 まずは、この訓練が現実にならない様に、安全登山

人工呼吸と心臓マッサージの講習は町内会や勤務先の会社で受けていました

山では救助隊が来るとは限りません。来てくれるとしても早くて数時間、遅ければ翌日以降です。

救助通報しなければ何もはじまりません。もし本番だったら? 自分は遭難者をおんぶできるか? 担架を作れるか? ここで待機するならツエルトはあるか?

理事会報告

第十二回理事会を三月二十四日(水)浦和県連事務所に於いて全国理事・藤樹(岩

【全国連盟活動】全国総会報告、クリーンハイクポスト等の配信

【財務】監査終了。決算予算案を別紙提案(了承)。

【ホームページ】上福岡山なみハイキングクラブHP開設、会員拡大の役割が増

加!

【女性】3の「応急手当」講習会参加者には好評。

【自然保護】足尾銅山植樹四月二十五日決定。立松和

平さんの慰霊植樹有り 西部はバス2台予定。参加希望は、加納まで

【登山学校】準備会を開催パンフ作成配布。

【救助隊】227~28関東ブロック深雪搬出訓練交流会(埼玉担当)が谷川土合山の家ならび付近で開催。総勢七十五名参加。

【山スキーネット】37那須スタレ山中の大倉尾根十名参加

【加盟団体活動情報】西部=22初級雪山「黒斑山」二十四名参加。クリーンハイクと8芦ヶ久保集合。南部=229ハスノーシューバスハイク裏磐梯

二十一参加。クリーンハイク伊豆ヶ岳。中部=313上越日白山交流山行

十七名参加。北部=クリーンハイク長瀬アルプス

総会情報(28)日進(24)

(新座・峠)(21)所沢・上福岡・三郷(21)わらび(28)ハイジ・笠歩歩

【議題】1、第四十三回県連総会

三月二十八日(日)

北浦和 カルタスホール

*総会準備と担当確認

全国連盟第二十九回総会報告、総会資料作成・印刷(3/27)

来賓：後藤功一全国連盟副理事長

*総会次第の確認

*新年度役員選出について

退・留・新任理事名の確認。

2、新年度の主な方針案等

・組織拡大：青年対策と連盟費割引制度等、学生クラブと話し合い参加しやすい方向性を模索する。

・個人加入制度：538全国連盟で組織担当者会議開催

ここでの方向性を話し合い、一年間検討し、評議会で討議。

・新特別基金：飲酒による怪我など会員の意識も大切。遭難防止・安全教育担当者会議で提出された申請等を検討し、会及び全国連盟遭難管理委員会にも提言する。

・事故防止安全登山：講演会、登山学校、遭難防止・安全教育担当者会議、救助隊活動救助隊で登山技術の講習を行ないたい。(救助隊総会で決定する)

・ネット活動の充実：各ネットに登録してもらい、活動情報を積極的に発信する。

以上。澤藤 記